

弾性無機系コンクリート保護材

インサル[®]キソツシュ^{ワン}ONE
(断熱材下地用)

標準施工仕様書

目次

1. はじめに
2. 取り扱い上の注意事項
3. 下地条件
4. 施工条件
5. 施工に関する注意事項
6. 材料の保管に関する注意事項
7. 製品一覧
8. 用具一覧
9. 標準施工手順
 - 9-1. 下地処理材施工手順
 - 9-2. 上塗り材施工手順
10. 施工後の注意事項

1. はじめに

この標準施工仕様書は「インサルキソツシュ ONE（断熱材下地用）」を取り扱う上での注意事項と、標準施工仕様について説明したものです。ご使用前に必ずお読みいただき、適切な取り扱い方法で安全に作業を行なうようにしてください。

本書に記載のある標準仕様は、平滑下地、気温 23℃を基準としたものであり、工程・使用量・塗布間隔は、下地の状況や施工部位・気温（適用範囲：5～35℃）などの施工条件によって多少変化することがあります。

2. 取り扱い上の注意事項

- 1) インサルキソツシュ ONE を取り扱う際には、必ず保護具（保護マスク、保護手袋、保護衣、保護メガネ等）を着用してください。
- 2) 局所排気装置などを設け、通気の良い場所で取り扱い作業を行なってください。
- 3) 粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けてください。
- 4) 使用する時には、飲食または喫煙をしないでください。
- 5) 取り扱い後は手、眼をよく洗ってください。
- 6) 保管時には、屋内貯蔵で床面に直置きせず、通気の良い、冷暗場所で保管してください。
- 7) 水ぬれ、吸湿しないように保管してください。
- 8) 廃棄する場合は、各自治体の法令に従い、廃棄を行なってください。
- 9) 環境への放出は避けてください。
- 10) 吸入した場合は、ただちに空気の新鮮な場所に移り、医師の診断を受けてください。
- 11) 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗ってください。
- 12) 眼に入った場合は、ただちに大量の清浄な水で 15 分以上洗ってください。洗眼の際、まぶたをよく開き、眼球、まぶたの隅々まで水でよく洗ってください。
- 13) 飲み込んだ場合は、口を水でよく洗い、ただちに医師の診断を受けてください。

3. 下地条件

- 1) 断熱材が基礎部分にしっかりと接着、固定されていることをご確認ください。
- 2) 断熱材全面にキソツシュベース（断熱材下地用）を使用し、下地を平滑に仕上げてください。
- 3) 断熱材のジョイント部には、必ずメッシュテープを使用してください。
- 4) 下地に付着しているほこりや油類は完全に除去し、清掃を行なってください。

4. 施工条件

- 1) 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 2) 降雨時または降雪時や下地が濡れている場合には施工しないでください。
- 3) 下地が平滑になっていることを確認してから施工を開始してください。
- 4) 足場が設置されている場合には、それらを撤去してから施工してください。

5. 施工に関する注意事項

- 1) 現場では水以外は混入しないでください。
- 2) 清水には水道水を使用してください。
- 3) 基礎表面の土を表面より約 100mm 掘り下げてください。
- 4) 水分量により色の出方が変わるため、規定の水分量を守って施工してください。
- 5) 同じ面に塗布する際には、途中で練り足すことが無いようにしてください。練り足し前と後で施工した箇所の塗り継ぎ部が目立ってしまう可能性があります。
- 6) 塗り付け時に本体が飛散する可能性があるため、周辺の他の部材及び仕上げ面を汚損しないように、必ず養生を行なってください。
- 7) 気温 5℃以下での施工は避け、凍結防止の為に適切な養生を行なってください。
- 8) 容器、攪拌器はきれいな物を使用してください。
- 9) 降雨時、降雪時の施工は避けてください。また、その直後に施工した場合も白華や色ムラが出る可能性があります。
- 10) 練り混ぜた材料は 1 時間以内に使用してください。時間が経つと硬化して使用できなくなります。

6. 材料の保管に関しての注意事項

- 1) 直射日光及び 5℃以下での保管は避けてください。
- 2) 容器を密閉し、涼しく通気の良い場所で保管してください。
- 3) 余った粉末はビニール袋等で密閉し、材料が空気に触れないようすることで使いまわしが可能です。
- 4) 屋内貯蔵で、床面に直置きしないでください。
- 5) 子供の手の届かない所に保管してください。
- 6) 水ぬれ、吸湿しないようにしてください。
- 7) 漏出した製品が河川・下水へ逆流すると環境を汚染するおそれがありますので、十分に注意してください。

7. 製品一覧

下 地 処 理 材	製品名	キソッシュベース(断熱材下地用)
	荷姿	20kg
	調合水量	5.0~5.5L
	塗厚	0.5~3.0mm
	施工面積	約 16 m ² (厚 1mm 時)

※断熱材下地の場合はキソッシュベース（断熱材下地用）にて必ず下地処理を行なってください。

上塗り材	製品名	インサルキソツシュONE(断熱下地用)
	色	ライトグレー・ダークグレー・ホワイト・ベージュ
	荷姿	12kg
	調合水量	4.0~4.8L
	塗厚	0.8~1.2mm
	施工面積	約 18 m ² (厚 1mm 時)

※気候条件などにより各商品の水分量は変わりますので、都度水分量を調整してください。

8. 用具一覧

用具名	用途
電動攪拌機	キソツシュベース、インサルキソツシュONE 攪拌用
はかり	キソツシュベース、インサルキソツシュONE 小分け時に使用
計量カップ	キソツシュベース、インサルキソツシュONE 水量計測用
金ゴテ	キソツシュベース塗り付け用
砂骨ローラー	インサルキソツシュONE 塗布用

9. 標準施工手順

9-1 下地処理材施工手順

※断熱材下地の場合には必ず下地処理を行なってください。

工程名		実施事項、注意事項	
①	材料搬入	実施事項	材料を使用場所に搬入する
		注意事項	・使用前後に材料置き場が決まっている場合は、必ずその場所に置いてください。 ・保管時は火気厳禁、冷暗場所で保管してください。
②	地表面掘削	実施事項	基礎表面の土を表面より約 100mm 掘り下げる
		注意事項	・断熱材の下部まで掘削してください。 ・本製品の乾燥、養生期間後に埋め戻しますので、土は処分しないでください。
③	養生	実施事項	水切り部など、施工箇所以外に養生を行なう
		注意事項	・塗り付け時に本体が飛散する可能性があるため、周辺の他の部材及び仕上げ面を汚損しないように、必ず養生を行なってください。
④	下地清掃	実施事項	施工前に必ず「3. 下地条件」を参照し、清掃を行なう

		注意事項	・清掃状況が悪いと硬化後の剥がれに繋がりますので注意してください。
⑤	キソッシュベース (断熱材下地用)の混練り	実施事項	①攪拌容器(左官用バケツなど)に5.0~5.5L水を入れる ②水をいれた攪拌容器にキソッシュベースを加える ③モルタルミキサーやハンドミキサーで練り合わせる
		注意事項	・規定の水分量を守って混練りを行なってください。 ・ダマにならないように攪拌してください。
⑥	キソッシュベース (断熱材下地用)の塗布	実施事項	練った材料は、金ゴテを使用し、コテ圧を十分にかけてしごき塗りした後、全体が約0.5~3.0mm厚で平滑に仕上がるように塗り付ける
		注意事項	・断熱材のジョイント部には必ずメッシュテープを使用しキソッシュベースを塗布してください ・ジョイント部を施工、乾燥させてから全面に塗布してください。 ・コーナー部はコーナー定木などを使用し、施工を行なってください。 ・練った材料は1時間以内に使用してください。
⑦	乾燥	実施事項	24時間以上養生期間をおく
		注意事項	・必ず乾燥を確認してから次工程に移ってください。

9-2. 上塗り材施工手順

①	材料準備	実施事項	材料を攪拌場所に持ち込む
		注意事項	・中身が漏出しないように気を付けてください。
②	インサルキソッシュONE 混練り	実施事項	①攪拌容器(左官用バケツなど)に <u>水を3.8L入れる</u> ②水を入れた攪拌容器にインサルキソッシュONEを加える ③モルタルミキサーやハンドミキサーでダマにならないように5分程よく攪拌(固練り)する ④その後に様子を見ながら <u>0.2~1.0L加水する</u>
		注意事項	・必ず規定の水分量を守ってください。 ・混練り時に必ず <u>3.8Lの水分量での固練り</u> (規定量より少ない水分量での攪拌)をしてください。 <u>固練りをしない場合、色が薄くなる可能性があります。</u> ・同一面での作業中断はやめてください。 同一面で作業を中断した場合は塗り継ぎ部分で色の違いが発生する可能性があります。

			・水の加えすぎに注意してください。
③	インサルキソツシュONE 塗布	実施事項	砂骨ローラーに均等につけ、全体が約1mm厚になるように塗布
		注意事項	・必ず規定の厚みが付くように塗布してください。下地の色が透ける程度の塗布厚ですと、ひび割れ等の原因となります。 ・練った材料は1時間以内に使用してください。
④	乾燥	実施事項	乾燥時間：24時間
		注意事項	・乾燥中は雨などが当たらないように養生を行なってください。

<インサルキソツシュONE重量別水分量(目安)一覧>

キソツシュONE重量	固練り時水分量 (L)	追加水分量 (L)	合計水分量 (L)
1kg	0.31	0.02~0.09	0.33~0.40
2kg	0.63	0.03~0.17	0.66~0.80
3kg	0.95	0.05~0.25	1.00~1.20
4kg	1.26	0.07~0.34	1.33~1.60
5kg	1.58	0.08~0.42	1.66~2.00
6kg	1.90	0.10~0.50	2.00~2.40
7kg	2.21	0.12~0.59	2.33~2.80
8kg	2.53	0.13~0.67	2.66~3.20
9kg	2.85	0.15~0.75	3.00~3.60
10kg	3.16	0.17~0.84	3.33~4.00
11kg	3.48	0.18~0.92	3.66~4.40
12kg	3.80	0.20~1.0	4.00~4.80

10. 施工後の注意事項

- 1) 施工後に物が当たるなどし、塗膜に傷がつかないように養生もしくは注意を払ってください。
- 2) 硬化までに、降雨、降雪等により水がかからないように養生を行なってください。
- 3) 余った粉末はビニール袋等で密閉し、材料が空気に触れないようにして保管してください。
- 4) 廃棄する材料は、各自治体の法令に従って廃棄してください。

以上